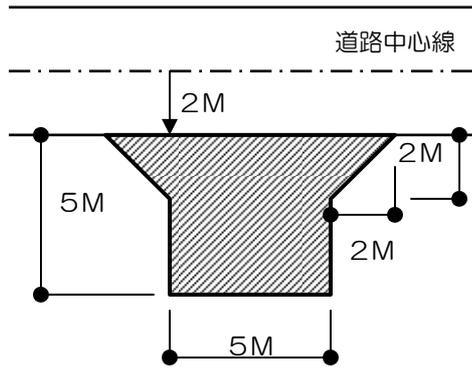


# 転回広場の形状

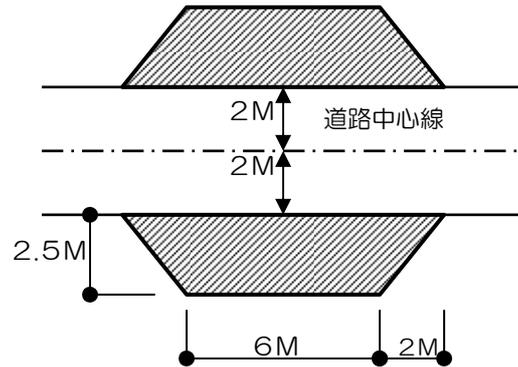
## 別 図

(1) 中間に設けるもの

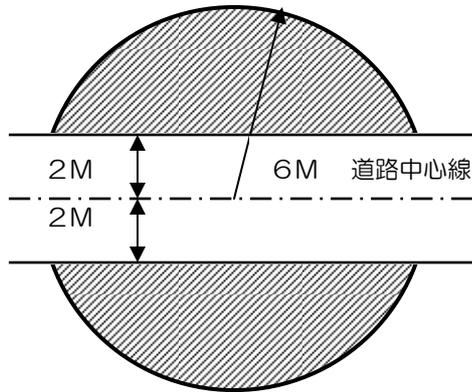
(イ)



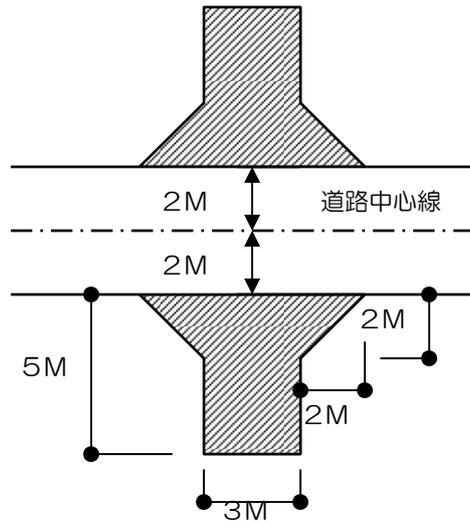
(ロ)



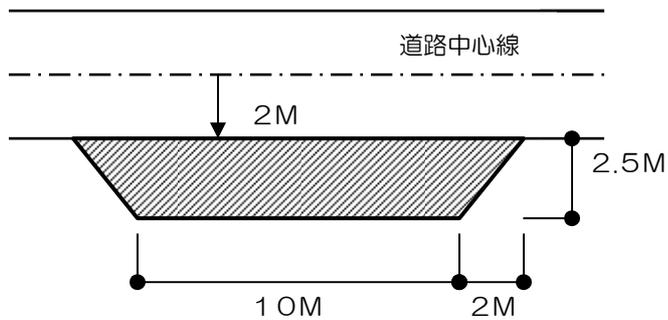
(ハ)



(ニ)

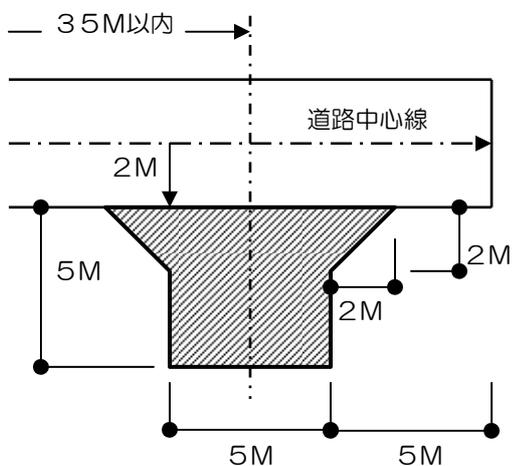


(ホ)

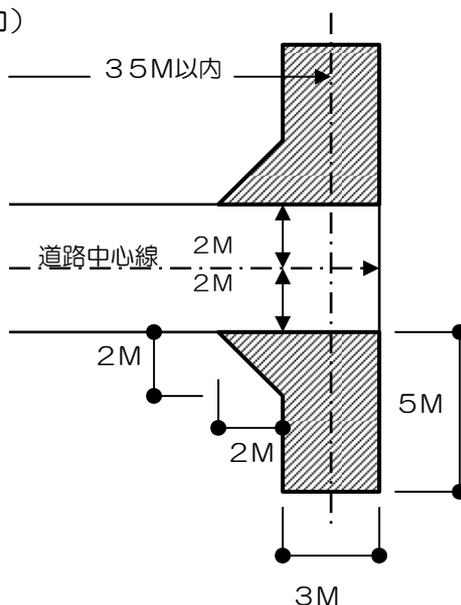


(2) 終端に設けるもの

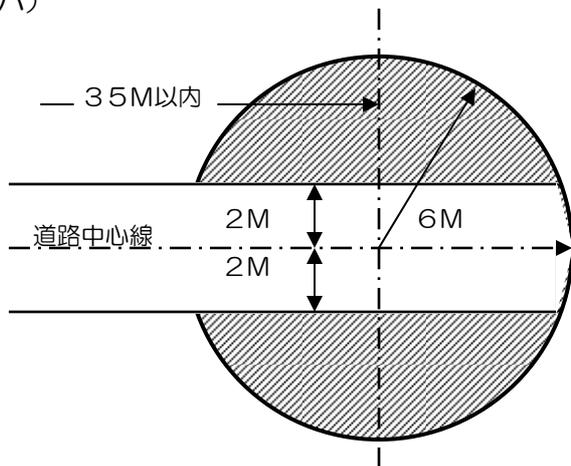
(イ)



(ロ)



(ハ)



寸法は有効幅とする。

---> 道路延長

○ 自動車の転回広場に関する基準（昭和45年12月28日建設省告示第1837号）

建築基準法施行令第144条の4第1項第1号ハの規定により国土交通大臣が定める自動車の転回広場に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。

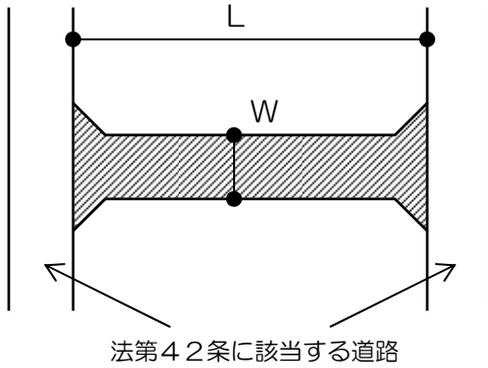
- 1 道の中心線からの水平距離が2mを超える区域内において小型四輪自動車（道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号）別表第1に規定する小型自動車で四輪のものをいう。次号において同じ。）のうち最大なものが2台以上停車することができるものであること。
- 2 小型四輪自動車のうち最大なものが転回できる形状のものであること。

# 解 説 (図 解)

## 1 指定道路の構造基準

### (1) 幅員、延長

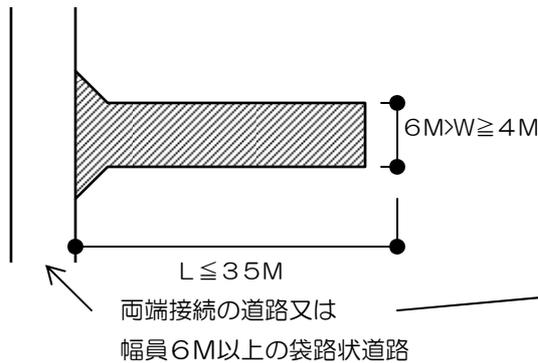
#### ① 両端接続道路



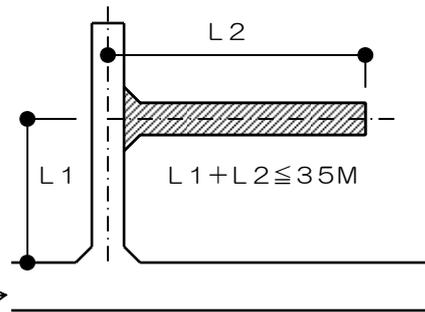
- 延長 (L) が100M以下のとき  
車道幅員 (W) は4M以上
- 延長 (L) が100M以下を越えるとき  
車道幅員 (W) は5M以上

#### ② 袋路状道路 (終端を敷地境とする)

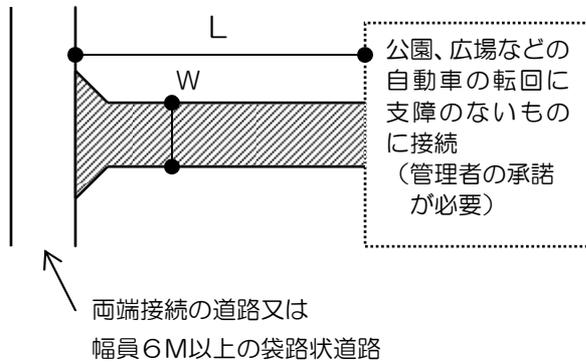
(イ)



接続道路が幅員6M未満の  
袋路状道路の場合

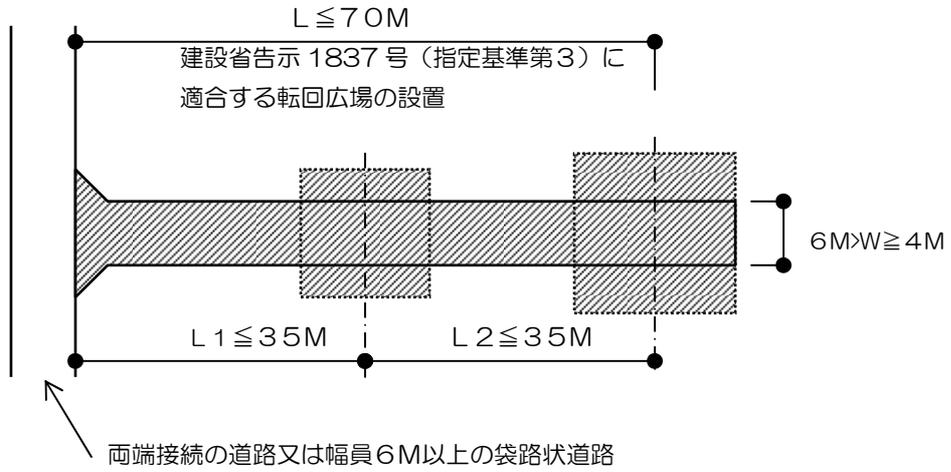


(ロ)

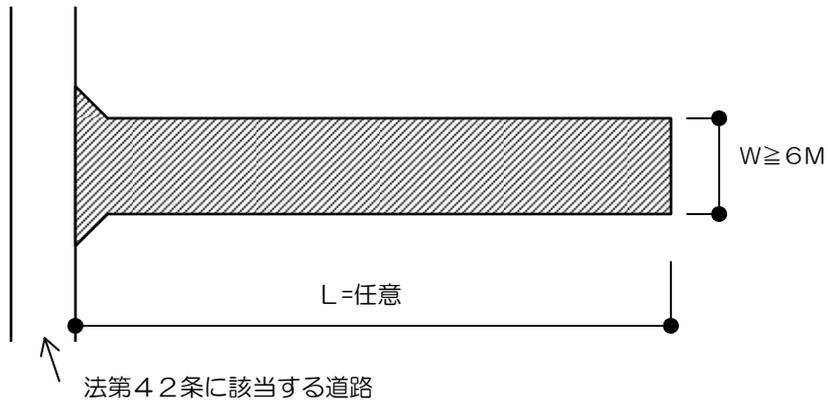


- $L \leq 100M$ のとき  
 $W \geq 4M$
- $L > 100M$ のとき  
 $W \geq 5M$

(ハ) 延長 (L) が 35M を超える場合



(二)

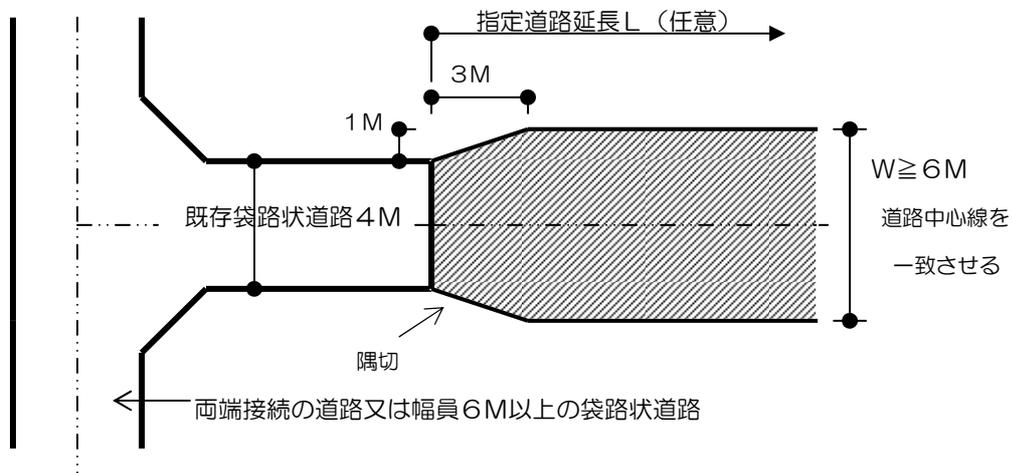


③ 既存袋路状道路（法第42条に該当する道路）の延長

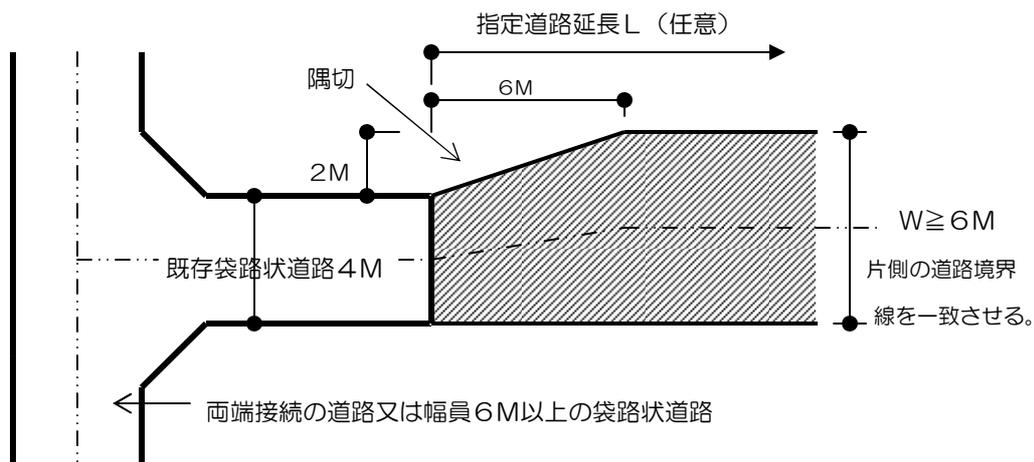
延長は原則6M以上の道路によるものとする。

既存袋路状道路が法第42条第2項の道路の場合は別途協議のこと。

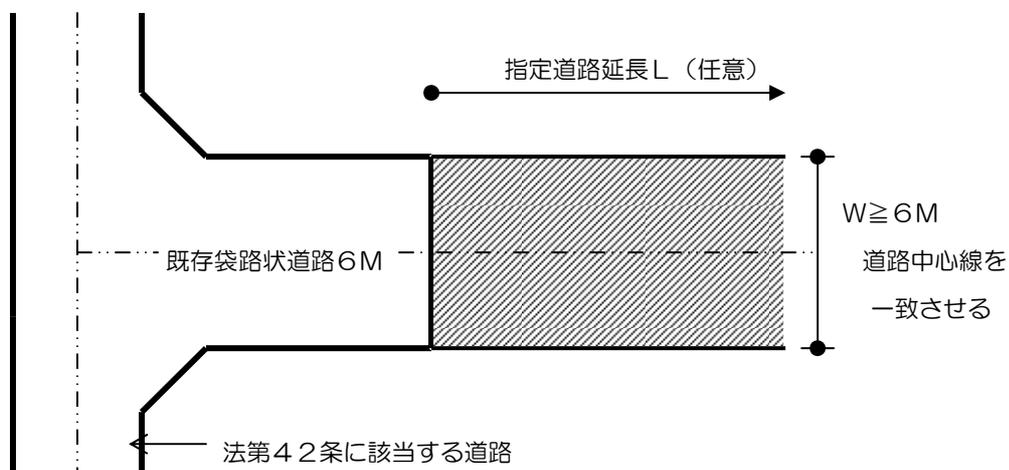
(イ)



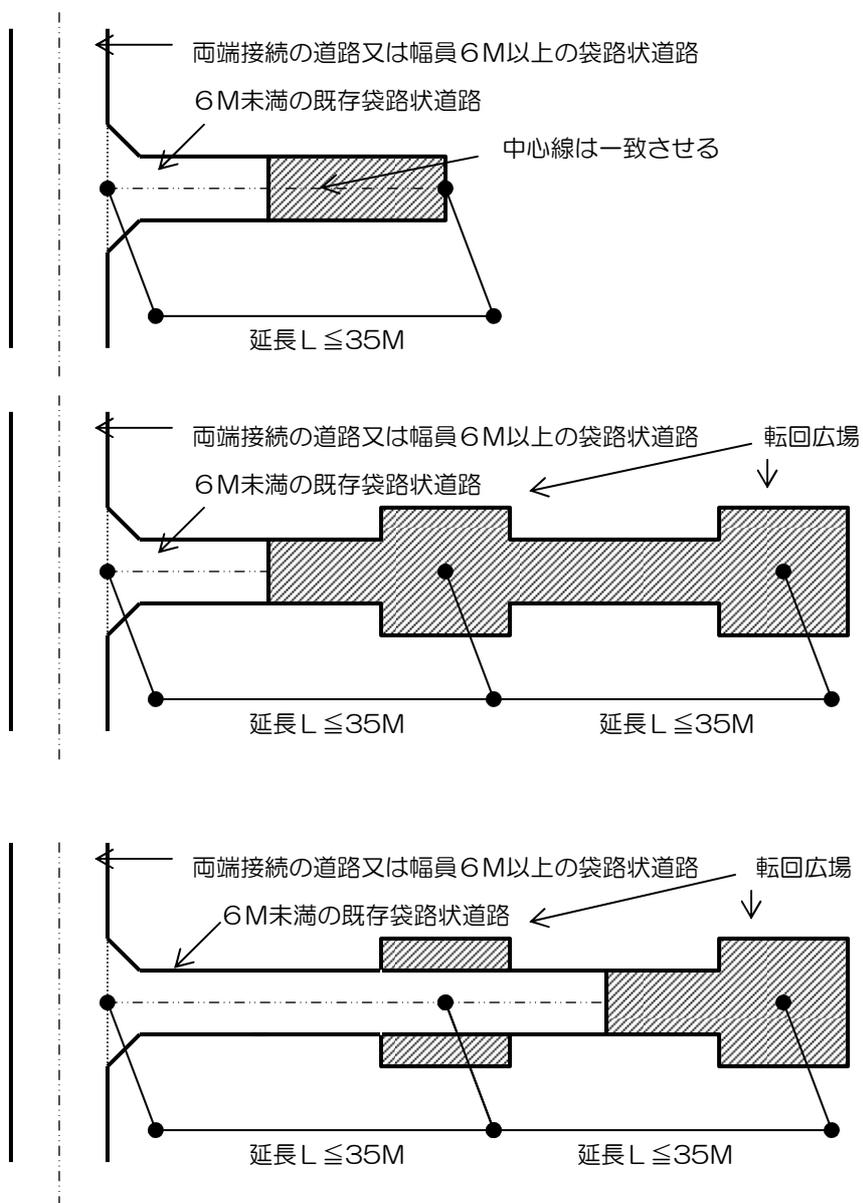
(ロ)



(ハ)

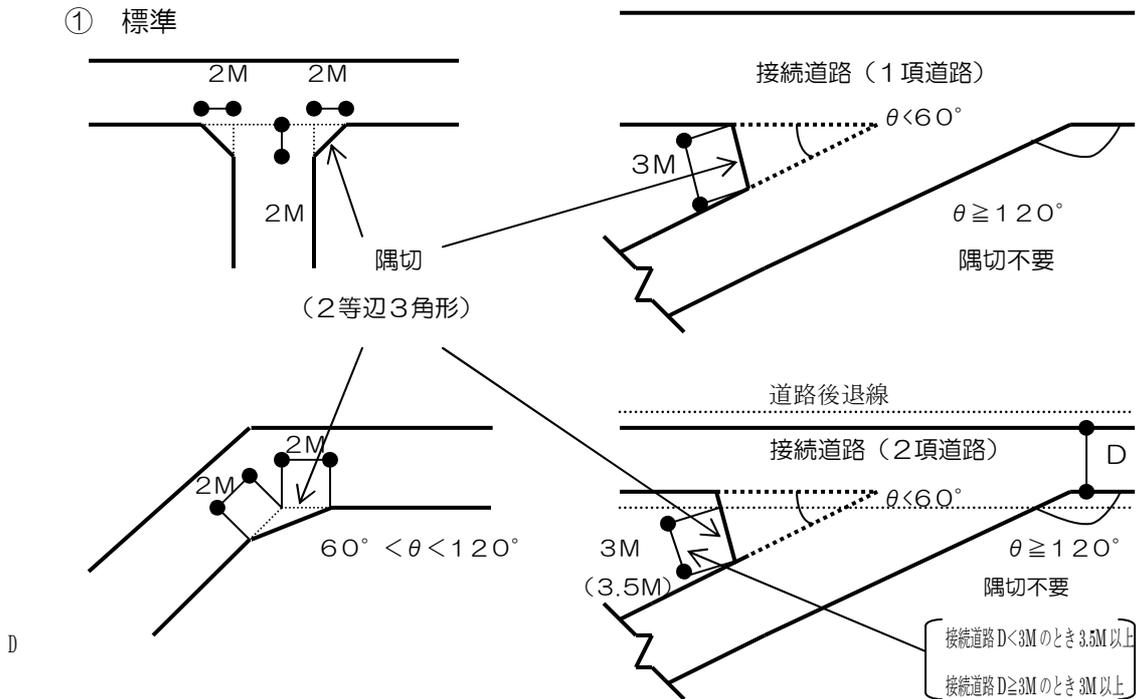


(二) 6M未満の既存袋路状道路をその幅員で延長する場合



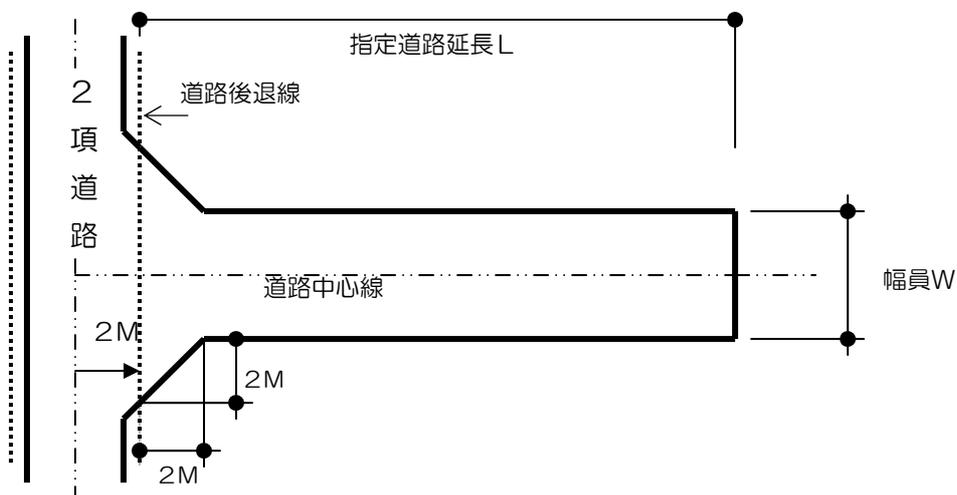
(2) 隅切

① 標準

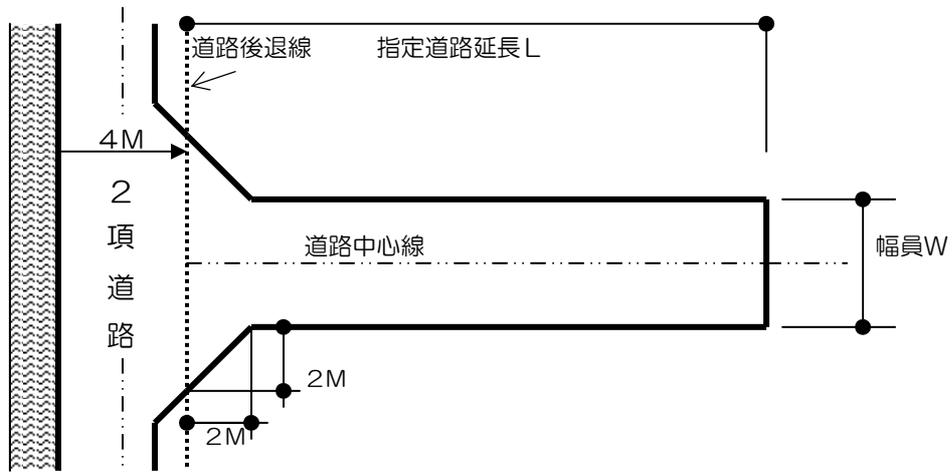


② 法第42条第2項の道路に接続する場合

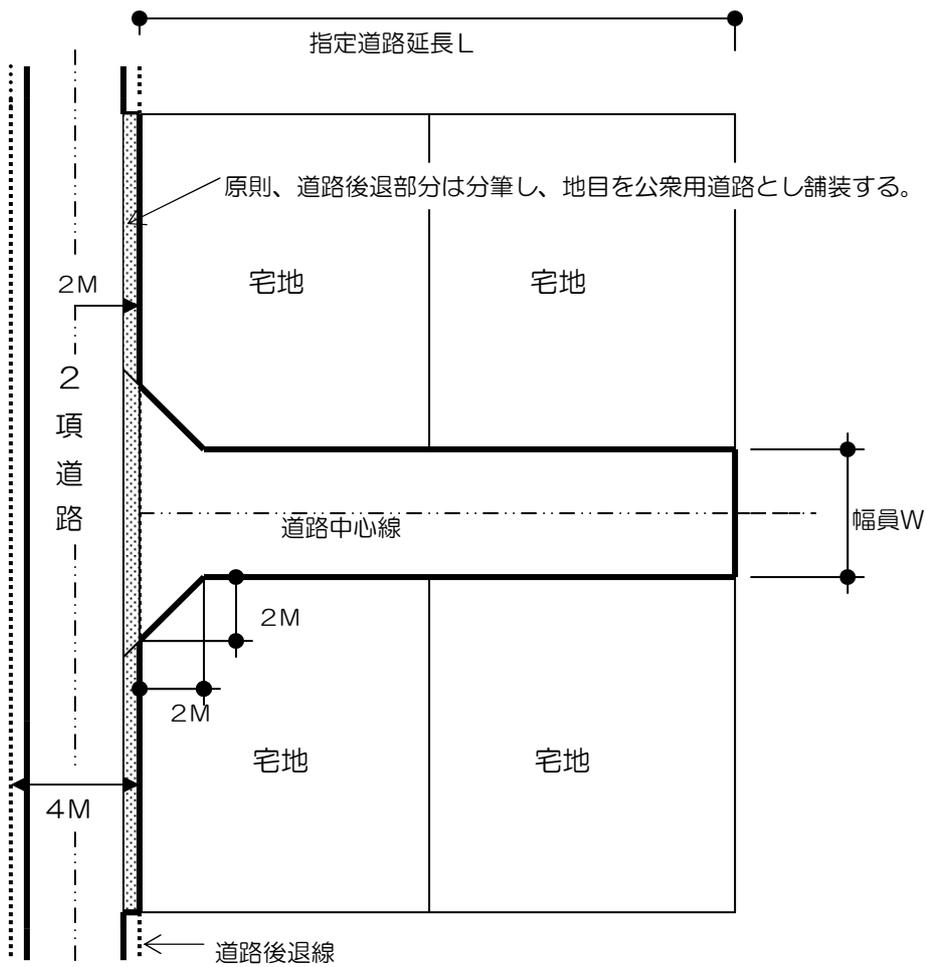
(イ) 一般的な場合



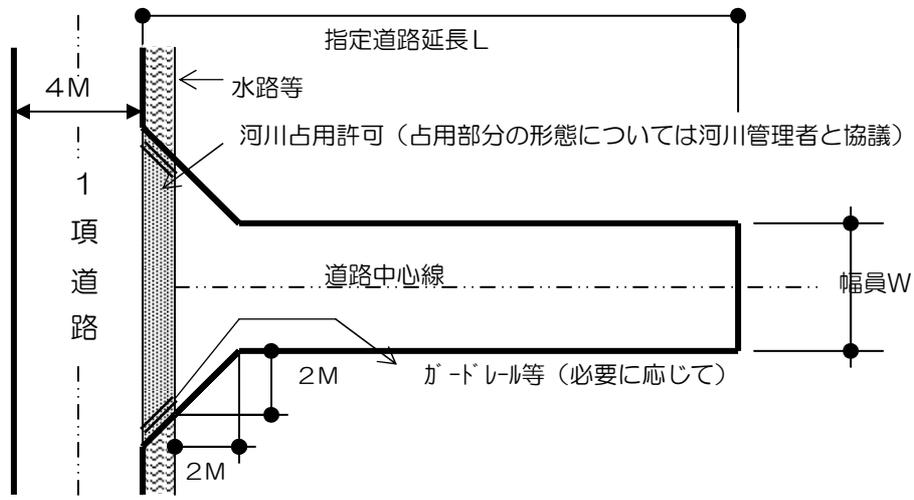
(ロ) 河川、がけ等に接する場合



(ハ) 開発区域との関係

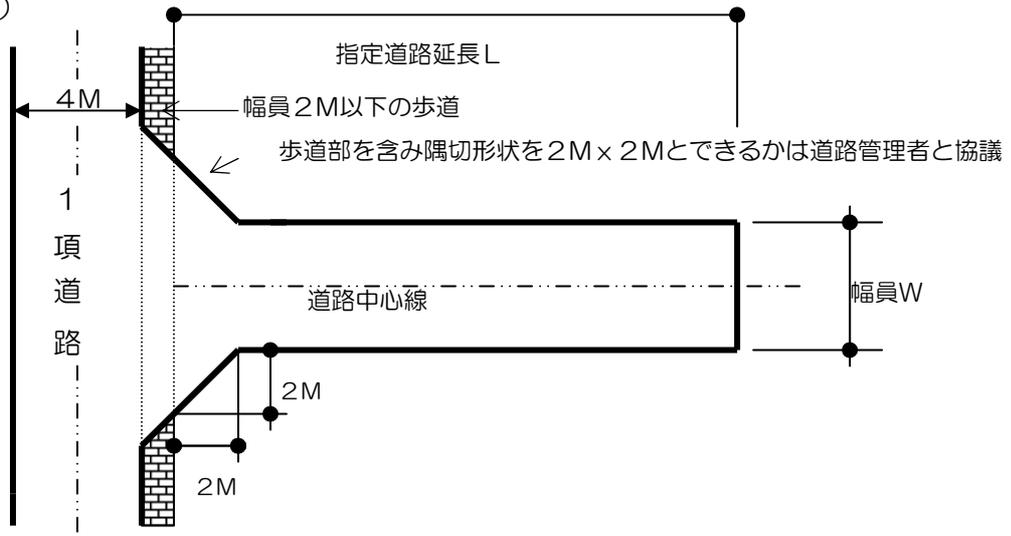


③ 水路を挟んで接続する場合

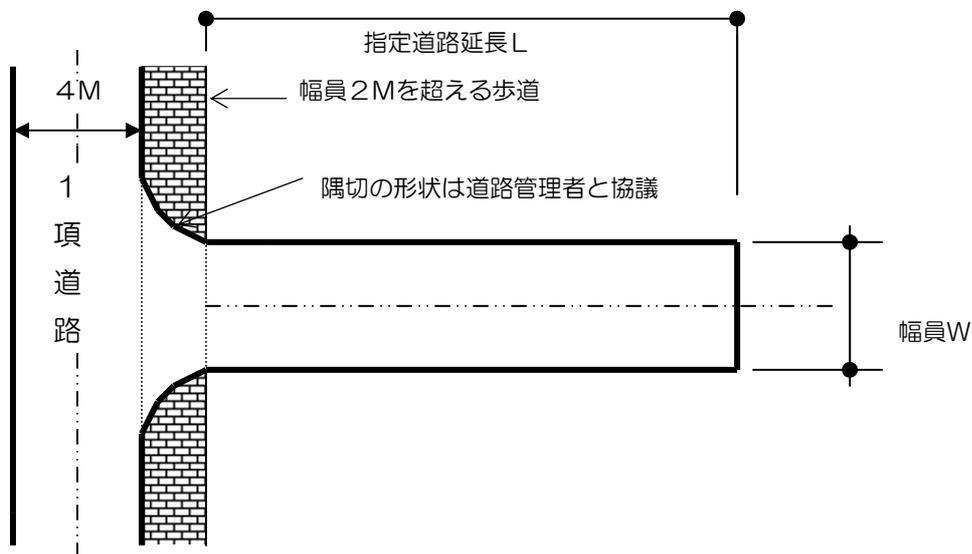


④ 歩道を挟んで接続する場合

(イ)

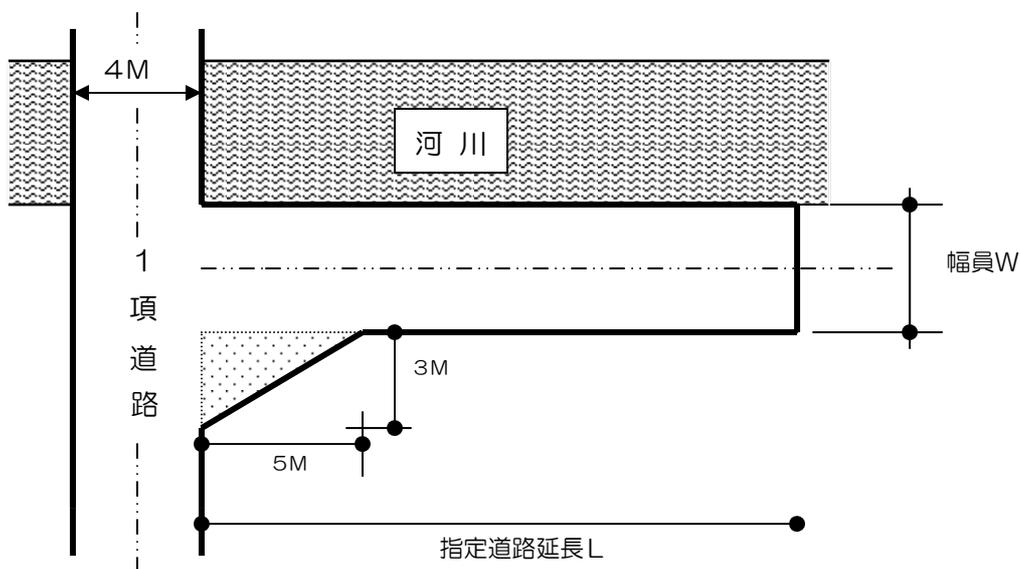


(□) 道路管理者と協議により、特定行政庁が周囲の判断によりやむを得ないと認め、  
隅切を設ける必要がない場合

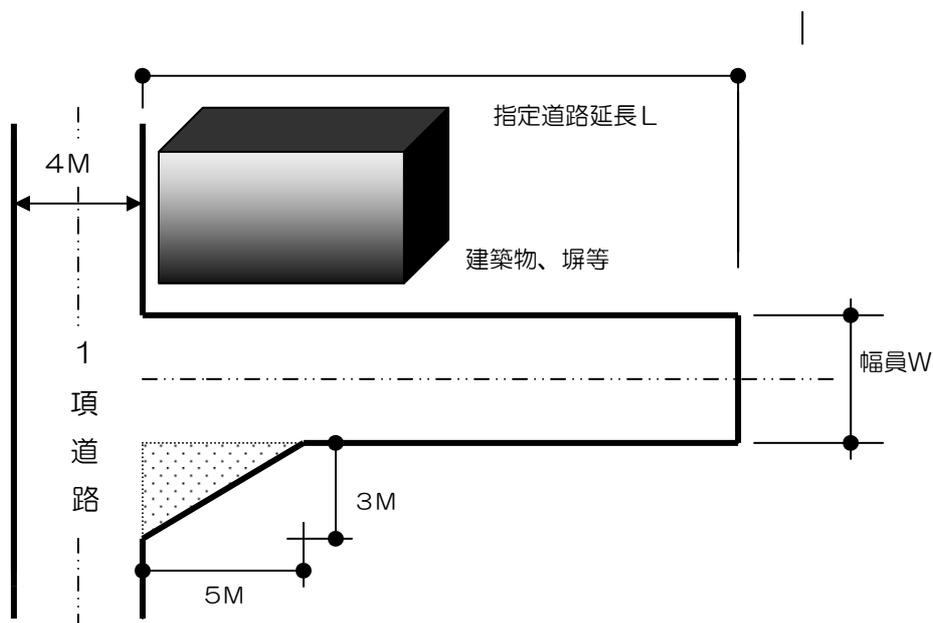


⑤ 片側隅切にできる場合

(イ)



(□)

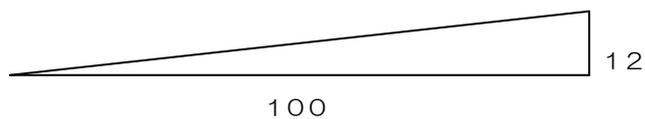


(3) 表面の仕上げ

- イ 舗装
- 砂利敷等ぬかるみとならない構造  
(小規模なもの。)

(4) 縦断勾配

- ① 12%以下かつ階段状でないこと。



- ② 指定道路は原則として9%以下とする。

- ③ 9%以上の部分の安全処置

- イ すべり止め舗装
- 横断側溝の設置
- ハ ガードレールの設置

- ④ 緩衝区間 (縦断勾配  $2.5/100$ )

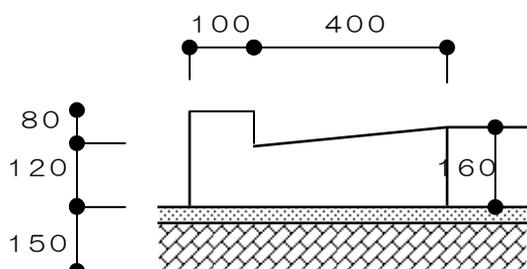
- イ 指定道路が他の道路へ接続する部分 10M
- 指定道路が相互に交差する部分 6M

- ⑤ 曲線部 回転半径が15M未満のもの  
縦断勾配2.5%以下

(5) 排水施設

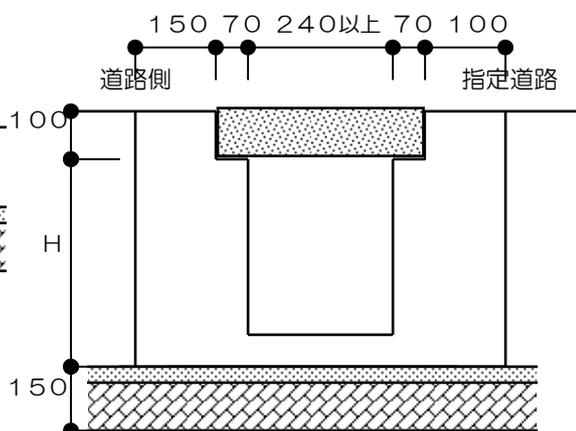
指定道路及びこれに接する敷地の排水に必要な排水施設は次図の構造と同等以上のものとする。

L型側溝



標準—20m以内ごとに集水柵を設置

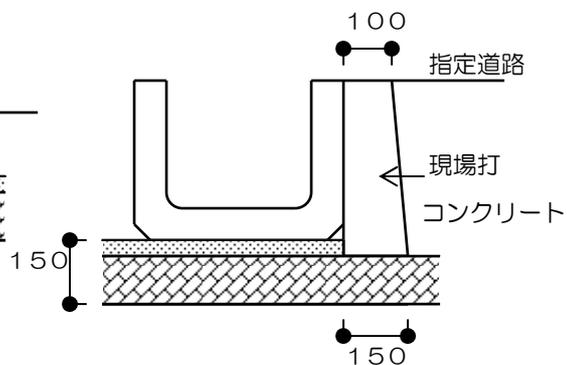
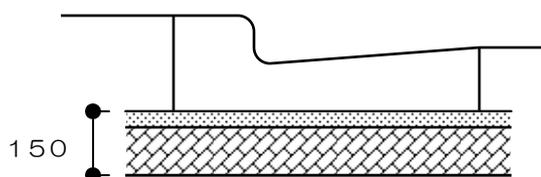
U型側溝



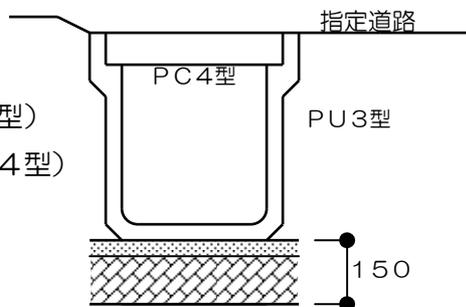
標準—10m以内ごとにグレーチング  
(T-14以上)を設置

L型側溝 (コンクリート2次製品)  
鉄筋コンクリートL型 250B  
300、350のみとする。

U型側溝 (コンクリート2次製品)  
鉄筋コンクリートU型 (240以上)



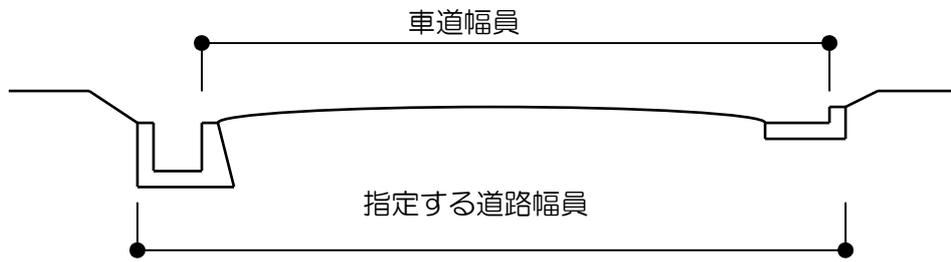
U型側溝 (コンクリート2次製品)  
道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝 (PU3型)  
道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝蓋 (PC4型)



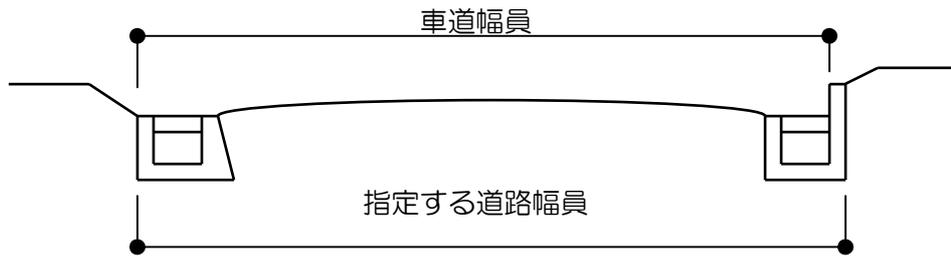
L型側溝、U型側溝、見切りコンクリート2次製品を使用する場合は、仕様書等の提出により承諾を得ること。

## 2 道路幅員のとり方

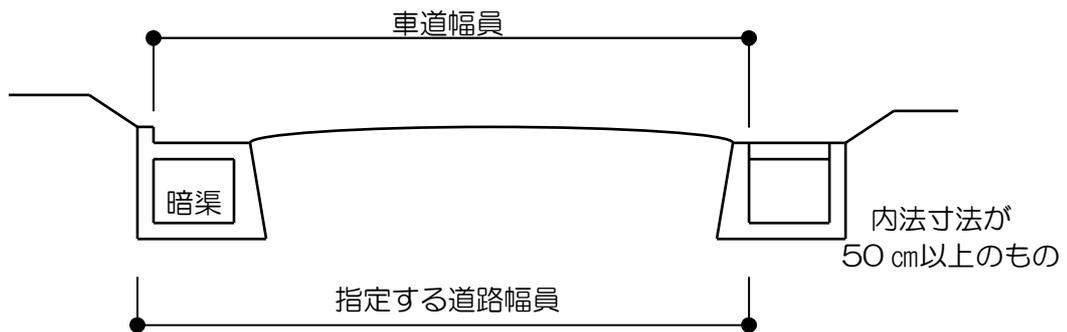
(1)



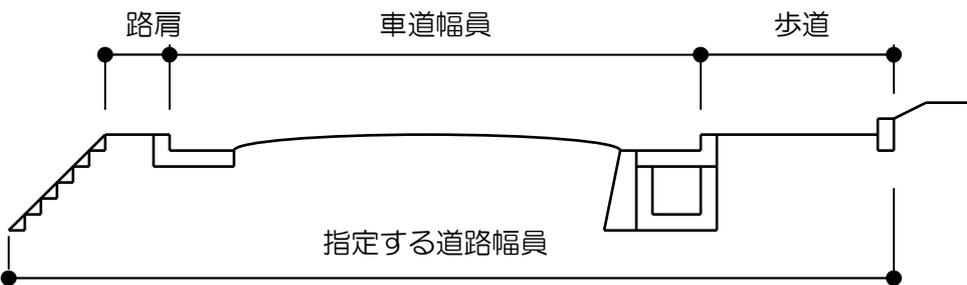
(2)



(3)



(4)



(5)



(注) 指定した道路幅員内は建築基準法第44条の建築制限を受ける。

### 3 流量計算 (参考)

流量計算及び排水施設の断面算定は下記の公式によるものとする。

#### イ 流量計算

$$Q = \frac{1}{360} C \cdot I \cdot A$$

Q : 雨水流出量 (m<sup>3</sup>/sec)

C : 流出係数 (0.9)

I : 降雨強度 (111mm/h (50年確率短時間))

A : 排水面積 (ha)

#### ロ 断面算定

クッターの公式

$$V = \frac{N \cdot R}{\sqrt{R+D}}$$

$$Q = A \cdot V$$

V : 流速 (m/sec)

n : 粗度係数=0.013

I : 勾配 (分数又は小数)

A : 流水の断面積 (m<sup>2</sup>)

マンニングの公式

$$V = \frac{1}{n} \cdot R^{2/3} \cdot I^{1/2}$$

$$Q = A \cdot V$$

N : (23+1/n+0.00155/I) · √I

D : (23+0.00155/I) · n

R : 径深 =  $\frac{A}{P}$

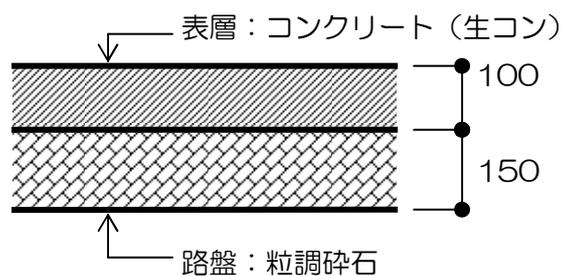
P : 流水の周辺長 (m)

### 4 舗装・見切

#### (1) アスファルト舗装



#### (2) コンクリート舗装



#### (3) 見切

